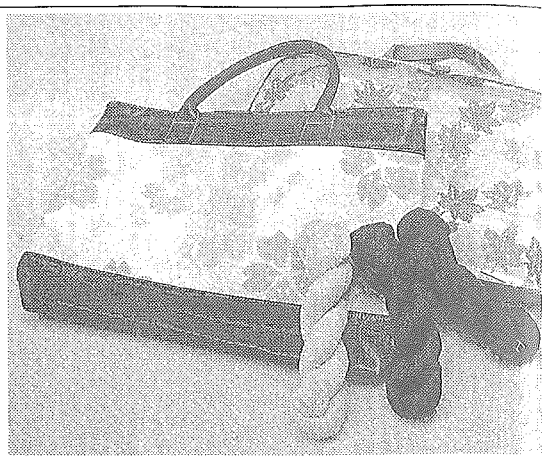

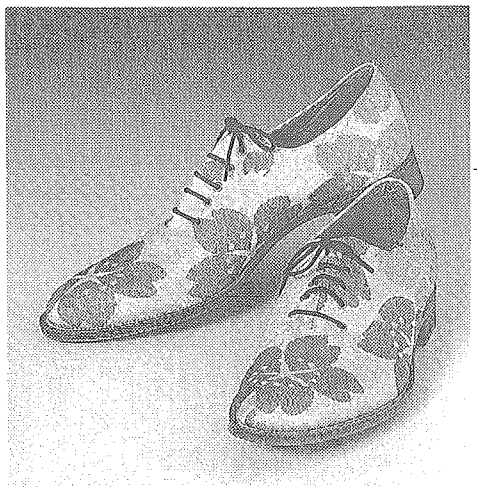

鞄と靴

現在、展開できる商品は販売や専門店での店頭販売などを目指す。新事業として育てると同時に、デザイン性の高さを売りに西陣織のテント生地の拡販にもつなげていきたい考えだ。

佐藤社長は「西陣織は通常のテント生地に比べて2倍くらい値が張るが、国内外で魅力を発信し、付加価値を認めてもらえれば」と、期待を寄せている。

エリアで空室率まだら模様

三幸エステート　3月のオフィス賃貸状況

三幸エステートが12日発表した名古屋市の3月のオフィス賃貸状況は、空室率が4・67％と前月比0・01ポイント上昇した。

空室率をエリア別にみる

名古屋市中村区のウインクあいちで、減災セミナー「被災から学び、つなごう！」を開く。南海トラフ巨大地震の備えや災害時の医療などを市民と考える企

の見直し」、名古屋大学の森保宏教授が「リスクで考えるわが家の耐震」と題してそれぞれ基調講演する。

愛知医科大学の中川隆教授が特別講演する。パネル

着眼大局　着手小局

繰り返し求められる人間力

❖15❖

目標書き出し意識に定着

あなどれない可視化の効果

日々、本紙をご覧の方々は、意識を高く持っている方、経営の目標、人生の目標を立て、日々のやりたいことや将来の夢などを考えている方が多いと思います。しかしながら目標を立てることは大切ですが、それを持ち続けること、言い換えるならば習慣的に意識し、行動につなげていくことはさらに重要なこととも言えます。

改めて考えてみると、私たちは目標を意識に定着させていくことに人生の多くの時間とコストを費やしてきたのかも知れません。

私はある結論を得るに至りました。それは、大切なことはとても基本的なことであるということです。目標を意識に定着化する手段に派手なことはない、一足飛びにできることはないということです。実際、何かを成し得ていくためには、まずは「書き出す」という行為が大切であるとわかりました。思っていることを書き出すことで、私たちはより生産的な人生を送ることができます。幾多の人生の転機において、私にとって書き出すことは、常に目標を明確にしておくためにとても重要な過程であることが分かりました。

単純でありながらも最も重要なのは、「すべてを書き出してみてください」ということです。最初は5～10項目くらいしか書けません。しかし、経営や人生の目標はもちろんのこと、読むつもりだった本、先送りにしていた雑用、潜在的なお客さまといったものを、意識の中から掘り起こしていくと、だいたい50項目以上は出てきます。

私自身は、自分のことをアイデアがあふれ出てくる人間とは全く思っていません。しかし、私は脳を意識的に働かせるために、アイデアを考える時間を作り、全てを書き出す時間を作っています。それは、将来のビジネスに関するアイデアかもしれないし、まったく実現する可能性がない陳腐なアイデアかも知れません。しかし、私はそれをすべて記録し、保管をしています。定期的に、週に一度のタイミングでこのプロセスを繰り返し、振り返っています。

こうして書き出していくことによる効用として、気持ちが楽になっていく開放感があります。これこそが、書き出した結果、「頭の中を空にする」という恩恵のひとつではないでしょうか。頭を空にして開放していくということ。それができることが、優先順位を考えたり、計画を立てたり、雑用に追われることなく創造性の高い仕事をし、目標へ向かっていくための前提なのではないでしょうか。

【加藤滋樹　プレジデント　ワンコミュニケーション・アナリスト】

（毎週土曜日に掲載）